

小町山山行報告

【山行日】2021年2月17(水) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 8:00

【費 用】マイカー2台 : 900円

【メンバー】CL:大西、SL鈴木ユ、

安西、嶋田、島田、関、田村、福田ケ、
福田タ、松葉、渡辺

【コースタイム】A班: 野木町役場 P7:00=

小町の館 P8:20/8:40~鬼越山 9:40/9:50~

小町山 10:10/10:20~朝日峠展望公園

10:40/10:50~朝日峠展望台 11:00/11:10~

小町の館 12:05/13:00~JA 直売所 13:20/13:40=野木町役場 P15:10

B 班: 小町の館 8:40~天の川コース~小町山 10:00/1:20~尾根コース~小町の館 11:50

去年宝篋山に登った際、地元の方が「隣の小町山も楽しい山だよ」と言って地図を渡してくれた。1月のコロナによる会山行自粛中に下見山行を行い、とても良い山なので今回の山行を計画した。



野木町役場を7時に出発し、国道125号線を経由し小田十字路を左折して小町の館駐車場に着く。外側にある登山者用駐車場に車を止め、準備を整えたらトイレに移動しストレッチを済ませて出発する。北側の道路を右に進むと朝日峠への分岐となり、分岐を左に進んで西側へ回り込むと小町山登山口の標識がある。右に山道を登って行き、馬頭尊や山の神を見ながら登ると尾根・沢コース分岐に出て、左の沢コースを進む。登山道は小町山愛好会の方達によって良く整備され、案内標識が沢

山付けられ迷うことは無い。分岐から針葉樹林の山道を進み、沢沿いの道に変わってしばらく進むと鬼越山への分岐となる。ここからは2班に分かれて登ることにし、シルバー隊3名はこのまま沢コースを登って小町山を目指す。健脚組8名は分岐を

左に進み、鬼越尾根コースを登って鬼越山を目指す。分岐を左に進むと熊の石と呼ばれる大きな石があり、大きな石の前を通り登って行くと急坂を九十九折れに登るようになる。やがて東城時への分岐に出て、右に登って行くとジグザグの登山道になり子宝の木や三つ石などの見どころが続く。

展望岩と呼ばれる場所で休憩し、キーウイフルーツや菓子をいただき展望を楽しむ。この先で仲良し小道への分岐となり、我々はそのまま右へ鬼越尾根を登って行く。すぐにベンチがある松の木広場あり、途中から先行した夫婦が休んでいた。



「鬼越山までどのくらいですか？」と声をかけると、「この先で林道を横切ると直ぐ山頂に出ます」と



教えてくれた。今は使われていない林道を横切り、急坂をほんの一登りで鬼越山山頂に着いた。

山頂は木立に囲まれて展望はほとんど無く、大きな木に「鬼越山」と貼り付けられている。記念写真を撮ったら林道まで戻り、林道を左に進み小町山に向かう。尾根の南側に付けられた道を東に進み、一旦パープルラインに出て直ぐに右の山道を登って行く。山道に入るとシルバー隊の3人が出迎えてくれ、全員一緒に小町山山頂まで登る。山頂は平らで広く、北側には筑波山の展望が得られる。

全員で集合写真を撮ったらテーブルとベンチがある場所へ移動し、リンゴや菓子などをいただき休憩する。ここから朝日展望公園分岐まで下り、3名は往路を戻り健脚組8名は左に進んで朝日展望公園を目指す。針葉樹林の登山道を下って行き、分岐を左に登り返し舗装道路に出て、右に少し歩くと朝日展望公園の駐車場に出る。駐車場の奥の

トイレに寄り、左に階段を登って行くと東屋が建つ展望台に出る。展望台からは筑波山や霞ヶ浦、スカイツリーや新宿副都心の高層ビルまで望める。展望台から南側の芝生の斜面を下り、「こもれびの森」や「野鳥の森」の遊歩道を歩いて「もみじ谷」に下る。遊歩道は公園として良く整備され、栈道や木橋を渡り変化に富んだ楽しいコースだ。木橋を渡ると沢沿いに下るようになり、自然のロックガーデンを楽しみながら下って行く。竹林の中にある腰掛岩やパラグライダーの練習場など見ながら下ると、往路で歩いた道路に出て小町の館に戻った。すでに3名は着いていて蕎麦処の順番を取っておいてくれた。そのまま店内に入り、指定されたテーブルについてそれぞれ好きなものをオーダーする。打ちたての常陸蕎麦を堪能し、皆さん満足して車に戻り靴を履き替える。トイレを済ませたら帰路につき、JAつくばの農産物直売所「サンフレッシュ」に寄って買い物し、予定より早く野木町役場に帰着した。

